

参考

1 環境創造学科の教育方針

環境創造学科の教育方針は、以下のコンセプトに基づいて、環境に携わる技術者・研究者を養成することである。

- 1) 環境に配慮した生活と環境問題を発生させない心構えとを念頭に、  
(環境の心)
- 2) 自然の論理性を的確に把握した上で、  
(自然の論理性の把握)
- 3) 良好な環境の保全と悪化した環境の復元・改善に取り組み、  
(環境の保全と復元・改善)
- 4) 自然との調和を図りつつ、  
(自然との共生)
- 5) 環境問題の進化にも対応が可能で、社会が持続的に発展できる新しい環境システムを創出する。  
(環境創造)

2 環境創造プログラムの卒業要件

従来の必修・選択・選択必修科目とは別に、学生便覧における指定科目 A, 指定科目 B①～B⑧の9つのカテゴリが科目ごとに指定され、下記の表を満たすことが必要です。

環境創造プログラムの卒業要件：学生便覧より抜粋  
表2 環境創造プログラムの卒業要件

科目種類	開講科目		必要単位
	科目数	単位数	
指定科目 A	34	68	68
指定科目 B①	8	8	6
指定科目 B②	2	2	2
指定科目 B③	13	26	10
指定科目 B④	6	11	5
指定科目 B⑤	6	6	3
指定科目 B⑥	4	8	4
指定科目 B⑦	11	22	14
指定科目 B⑧	11	22	12
合計			124

3 達成度の数値化(達成度ポイント計算)について

環境創造学科では達成度を数値化して評価するため、下記の方法で計算しています。

- 1) 1 単位を 10 ポイントとし、教育目標ごとに取得単位数をポイントに換算して合算する。  
(卒業研究およびゼミナールを除く)
- 2) 卒業研究は、教育目標 D, E, F, G に対し、120, 72, 128, 80 ポイントを配分する。
- 3) ゼミナールは C, F に対して 12, 8 ポイントを配分する。
- 4) 各学習・教育目標ごとのポイント数の合計が下記の基準ポイント数に達していれば、その学習・教育目標が達成されたとし、基準ポイント数に対する獲得ポイントの比が「達成度」となります。

表1 学習目標ごとの基準ポイント数

学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G
基準ポイント数	360	40	492	180	112	216	80

※ 環境創造プログラムの卒業要件が満たされると、自動的に基準ポイント数に達します。

環境創造学科 環境創造プログラム 学習・教育目標の達成度自己点検表

本点検表は学科の各期の開講科目と環境創造プログラムの学習・教育目標との相関を示すものです。各自が履修した科目をマークし、学習・教育目標 (A～G) のうちいずれの学習・教育目標が達成されてきたか点検してください。

環境創造プログラムの学習・教育目標

[多様な価値観と基礎知識]

(A) 多様な価値観と広い見識を習得する。

A-1 環境と社会の関係を認識するために、人文科学や社会科学などの知識を習得する。

A-2 専門分野の基礎となる数学や物理などの自然科学および情報科学の基礎知識を習得する。

[技術者倫理と環境倫理]

(B) 環境に関わる技術者として、社会全体の利益と秩序を考慮した社会活動を可能とする知識と教養を習得する。

B-1 技術者として、社会の利益がどのようにあるべきか理解する。

B-2 適切な社会活動を行える素養を身に付けるために環境倫理を習得する。

[専門基礎知識とその応用]

(C) 都市・居住環境、気圏環境、水環境、地圏環境の基礎知識と基礎理論を習得する。[専門基礎知識]

(D) 環境に関わる現象のメカニズムを把握する能力を習得する。[計測技術と現象の把握]

D-1 都市・居住環境、気圏環境、水環境、地圏環境に関する計測技術の基礎を習得する。

D-2 計測データを基礎理論にもとづいて解析し、総合的に現象のメカニズムを把握する能力を習得する。

(E) 環境の改善と新たな環境の創出のためのデザイン能力を習得する。[デザイン能力]

E-1 問題を解決するために、周辺への影響などの要因を踏まえて立案、計画、設計を総合的に行える能力を習得する。

E-2 新たな環境の創出ができるように立案、計画、設計を行える能力を習得する。

[コミュニケーション能力]

(F) 日本語によるプレゼンテーション能力ならびに国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を習得する。

[高度な技術者養成への基礎作り]

(G) 生涯学習能力の基礎と、課題の解決のための計画・管理能力を習得する。

G-1 身に付けた幅広い知識をもとに、さらなる応用知識を身に付けることができるように生涯学習能力の基礎を習得する。

G-2 社会条件および自然条件の制約下で課題を理論的に解決するだけでなく、定められた期日を厳守し、そのために計画を自ら立て、自ら管理することができる能力を習得する。

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

環境創造学科 環境創造プログラム 学習・教育目標の達成度自己点検表

※ 習得した科目を蛍光ペンなどでマークしてください。

斜体文字：A 指定科目＝プログラムにおける必修科目

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

学習・教育目標	科目指定	1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>A</b> 多様な価値観と基礎知識	A	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 物理学Ⅰ, コンピューターサイエンス, コンピューターリテラシーⅠ	数学Ⅲ, 数学Ⅳ, 物理学Ⅱ, コンピューターリテラシーⅡ						
	B①	体育科学Ⅰ	体育科学Ⅱ						
	B③	人文科学基礎Ⅰ, 社会科学基礎Ⅰ, アジア文化論Ⅰ, 欧米文化論Ⅰ	人文科学基礎Ⅱ, 社会科学基礎Ⅱ, アジア文化論Ⅱ, 欧米文化論Ⅱ, 文化人類学	文学, 日本国憲法	美学, 心理学				
	B④	化学Ⅰ	物理学演習, 化学Ⅱ	地学Ⅰ, 応用生物科学	地学Ⅱ				
	B⑤	物理学実験Ⅰ	物理学実験Ⅱ, 化学実験Ⅰ	化学実験Ⅱ, 地学実験Ⅰ	地学実験Ⅱ				
<b>B</b> 技術者倫理と環境倫理	A	技術者倫理	環境倫理						
<b>C</b> 専門基礎知識	A	理工学概論Ⅰ	理工学概論Ⅱ	気圏環境学, 水環境学, 基礎環境創造学, 材料力学	人間行動学, 水理学, 環境材料学, 構造力学Ⅰ	地圏環境学, 地盤情報論, 構造力学Ⅱ	ゼミナール		
	B⑥			応用数学Ⅰ, 確率統計学	数値計算法, 応用数学Ⅱ				
	B⑦				快適性創造学	交通環境工学, 環境創造設備学, 地圏環境変遷学, 環境測量学	環境共生都市論, 水質処理学, 地殻変動学, 社会資本デザイン	材料リサイクル, 建設法規	
	B⑧					水域環境創造学, 空間創造学, 環境気象学	環境法	防災工学, 環境経済学	
<b>D</b> 計測技術と現象の把握	A					環境創造学実験, 環境測量学実習		卒業研究・卒業制作, 環境アセスメント	卒業研究・卒業制作
	B⑧						環境リモートセンシング		
<b>E</b> デザイン能力	A			環境デザイン図法	居住環境設計			卒業研究・卒業制作	卒業研究・卒業制作
	B⑧				環境造形学	環境文化論	都市環境設計	建設施工学	
<b>F</b> コミュニケーション能力	A	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ				ゼミナール	卒業研究・卒業制作	卒業研究・卒業制作
	B①			英語コミュニケーションⅢ, ドイツ語Ⅲ, フランス語Ⅲ, 中国語Ⅲ	英語コミュニケーションⅣ, ドイツ語Ⅳ, フランス語Ⅳ, 中国語Ⅳ	プラクティカル・イングリッシュⅠ	プラクティカルイングリッシュⅡ		
	B②	ドイツ語Ⅰ, フランス語Ⅰ, 中国語Ⅰ	ドイツ語Ⅱ, フランス語Ⅱ, 中国語Ⅱ						
<b>G</b> 高度な技術者養成への基礎作り	A							卒業研究・卒業制作	卒業研究・卒業制作